



平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成25年7月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	907	5.2	119	111.7	126	286.3	124	—
24年8月期第3四半期	862	△8.8	56	—	32	—	△18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	7,128.92	—
24年8月期第3四半期	△1,033.14	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	1,720	136	7.9
24年8月期	1,775	11	0.7

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 136百万円 24年8月期 11百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 8月期の業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,140	3.3	110	118.3	90	318.9	85	—	4,584.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年8月期3Q	18,540 株	24年8月期	18,540 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年8月期3Q	1,094 株	24年8月期	1,094 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期3Q	17,446 株	24年8月期3Q	17,446 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第 3 四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクがあるものの、輸出及び生産が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、製造業を中心とした企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気は持ち直しています。

当社の主な販売分野であるF P D業界におきましては、テレビ向けの液晶パネルの需要が停滞していることで関連する大型液晶パネルの設備投資は低調に推移しましたが、スマートフォンやタブレットP C向けの中小型液晶パネルの設備投資は国内向けを中心に増加しました。半導体業界におきましては、世界的な景気低迷の余韻が残るなか、携帯端末の増加などにより半導体全般に回復傾向が出始めました。また、携帯端末メーカーの競合激化に関連し半導体調達先の変化が見られるなど複合的な要因により設備投資は増加に転じております。太陽電池業界を含むその他分野におきましては、中国の新興太陽電池パネルメーカーの台頭などアジア地域を中心とした生産が増加していることにより需給が悪化し急激な価格低下が続いております。

当社は、このような経済状況のもと、F P D分野では、スマートフォンやタブレットP C向の国内液晶パネルメーカーの設備投資に関連した受注を獲得いたしました。半導体分野では、厳しさの残る市場環境のなか、新規顧客からの受注獲得に成功したほか、既存顧客からの受注品種拡大も継続しているなど、市場の改善に伴い拡大傾向にあります。損益面では、固定費の削減効果と生産性改善により営業利益が向上しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が907百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は119百万円(前年同期比111.7%増)、経常利益は126百万円(前年同期比286.3%増)、四半期純利益は124百万円(前年同期の四半期純損失は18百万円)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

前事業年度末に比べ、55百万円減少し1,720百万円となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が137百万円、たな卸資産が14百万円増加、現金及び預金が115百万円、電子記録債権が4百万円、固定資産が88百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、179百万円減少し1,584百万円となりました。主な内容は、買掛金が13百万円、その他流動負債が2百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が187百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、124百万円増加し136百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が124百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の0.7%から7.9%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年10月12日付当社「平成24年 8 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました業績予想を平成25年 7 月 5 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。

当期における事業環境は、当初予想よりもF P D分野が好調に推移しており、半導体分野につきましても、市場環境は停滞が続き不透明な状況から、当第3四半期半ばより明確に改善傾向にあります。

このような環境のもと、売上高につきましては、好調だったF P D分野の受注が足元で一服するなかでも半導体分野が下支えする構造となり、当初予想よりも若干増加する見込みとなりました。営業利益は生産性改善が進み増加する見通しとなり、経常利益と当期純損益につきましても、営業利益の増加に伴い改善する見込みとなりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第3四半期累計期間において、営業利益119百万円、四半期純利益124百万円を計上しておりますが、前事業年度においては、営業利益50百万円を計上しながらも当期純損失62百万円を計上している状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は平成23年8月期より実施しております、事業再生ADR手続の事業再生計画における金融支援策や熊本事業所売却及び人員整理等の施策効果、また継続的に進めております生産構造改革により、収益状況は順調に推移し、収益性の向上による経営基盤の改善が継続的に見込める状況にあります。また、資金面においても、当該事業再生計画に基づく弁済方法の変更により、安定した事業運営を進めるための十分な運転資金を有している状況であります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないと判断しております。

なお、文中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 8 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成25年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,011	268,925
受取手形及び売掛金	232,015	369,877
電子記録債権	87,410	82,738
商品及び製品	3,818	5,609
仕掛品	16,804	29,607
原材料及び貯蔵品	146	507
その他	12,209	12,540
貸倒引当金	△608	△1,351
流動資産合計	735,808	768,455
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	315,046	301,406
構築物（純額）	8,788	7,008
機械及び装置（純額）	305,867	255,066
車両運搬具（純額）	5,104	3,487
工具、器具及び備品（純額）	2,107	3,578
土地	289,783	289,783
リース資産（純額）	5,600	2,000
建設仮勘定	75,275	74,500
有形固定資産合計	1,007,573	936,831
無形固定資産	2,291	6,692
投資その他の資産	30,063	8,289
固定資産合計	1,039,928	951,813
資産合計	1,775,737	1,720,269
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,548	26,616
1年内返済予定の長期借入金	194,009	6,076
未払法人税等	2,918	4,181
受注損失引当金	4,100	2,800
その他	55,596	61,791
流動負債合計	274,172	101,465
固定負債		
長期借入金	1,486,336	1,480,260
資産除去債務	1,584	1,595
その他	1,939	872
固定負債合計	1,489,860	1,482,727
負債合計	1,764,032	1,584,193

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 8 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成25年 5 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	133, 000	133, 000
資本剰余金	123, 000	123, 000
利益剰余金	△244, 295	△119, 924
株主資本合計	11, 704	136, 075
純資産合計	11, 704	136, 075
負債純資産合計	1, 775, 737	1, 720, 269

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 5 月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)
売上高	862,464	907,006
売上原価	666,120	654,364
売上総利益	196,343	252,642
販売費及び一般管理費	139,926	133,208
営業利益	56,416	119,433
営業外収益		
受取利息	32	101
為替差益	2,983	20,419
その他	1,130	518
営業外収益合計	4,146	21,038
営業外費用		
支払利息	16,849	13,307
その他	10,876	304
営業外費用合計	27,725	13,611
経常利益	32,837	126,860
特別利益		
固定資産売却益	3,532	—
特別利益合計	3,532	—
特別損失		
固定資産売却損	35,100	—
固定資産除却損	0	39
事業構造改善費用	16,354	—
特別損失合計	51,454	39
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△15,085	126,821
法人税、住民税及び事業税	2,938	2,450
法人税等合計	2,938	2,450
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△18,024	124,371

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第 3 四半期累計期間（自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 5 月31日）及び当第 3 四半期累計期間（自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 5 月31日）

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。